

## 故郷山形を元気に

日本政策金融公庫山形支店  
国民生活事業・事業統轄

卯月 賢一氏



山形商工会議所並びに関係機関・団体の皆さま方には、日頃より日本政策金融公庫の業務にご理解とご協力を賜りありがとうございます。この紙面をお借りして感謝申し上げます。私は、地元山形市出身です！平成5年に旧国民金融公庫（こくきん）に入庫し、これまで10回の転勤を経験し、この度晴れて地元山形で仕事をすることとなり、先日着任いたしました。高校卒業後、山形を離れて30年。山形で仕事がしたい！という長年の希望を叶えられたことを大変嬉しく思うとともに、身が引き締まる思いで毎日仕事をしています。

30年ぶりに山形に戻って生活し実感したのは「自分の生まれ育ったふるさとの素晴らしさ」です。自然の豊かさ、食べ物のおいしさ、人々の優しさ・あったかさ…。少年時代ではまだまだ未熟であったのでしょうか。これらは「日常で当たり前のこと」という感覚であったことから、当時はその素晴らしさに気づきもせず、天命を知る年齢（・・・）を過ぎて初めて知った次

第です。私という人間は、ふるさと＝山形が礎となっているのだらうと思っています。時代は変わっても「ふるさとの素晴らしさ」はずっと変わらないものであって欲しい、と改めて感じています。

一方、変わったなあと感じることは、新幹線や高速道路の開通、仙台等への都市間バスの普及、市内主要道路の拡張などインフラ整備が進んだこと、その影響で地域の経済環境に変化が生じていることが挙げられます。私の思い出の中にあるダイエー、ニチイ、十字屋、松坂屋、そして大沼デパートが無くなってしまったことも、こうした変化がもたらしたものかも知れません。そのような中、街を歩いていてうれしく思うのは2つあります。1つは、青春時代の甘酸っぱい思い出（？）が沢山詰まっているお店が、元気に営業しているのを発見できることです。山形は、いわゆる「老舗企業」が京都に次ぎ多いと言われています。今般の社会全体の課題である事業承継を含めて「地域に愛される企業・お店」を守ることを大切にし、そのためのお手伝いをしていきたいと思っています。

2つめは、古き良き時代の趣のある建物をリノベーションして、新たに事業を始められている方々と触れ合えることです。山形を元気にしよう！地域を盛り上げていこう！山形の良さをどんどんPRしよう！コロナ渦の厳しい経営環境の中、お会いした方々皆さんが、同じことをおっしゃいます。そうした想いを共有し、微力ながらお手伝いさせていただきたいと思っています。

私ども日本公庫国民生活事業は、新たに事業を始められる方を積極的に応援しています。創業は新たな雇用を創出し、地域活性化に大きく寄与します。こうした取り組みは、山形商工会議所をはじめとする支援機関、民間金融機関、税理士等の専門家の方々との連携、協力が得られて初めてなし得るものだと考えています。是非、ご指導いただければ幸いです。地元山形のために貢献できる機会を得ましたこと、本当に嬉しく思っています。「ないでもすねどなー」の精神で頑張ってください。皆さま、どうぞよろしくお願いたします。